

一年の動き

2020年4月	新入職員10名の入庫式を行いました。
2020年4月	メルベイの新規加盟店開拓を開始しました。
2020年6月	「信用金庫の日」に地域貢献活動の一環として、県赤十字血液センターの移動採血車による400ミリリットル献血に協力し、お客様と共に献血活動に取り組みました。
2020年6月	サマーキャンペーン「とうしんサマー定期預金」の募集を行いました。
2020年10月	りそな銀行代理店として国民年金基金の募集を開始しました。
2020年11月	個人型確定拠出年金(iDeCo)の取扱いを開始しました。
2021年1月	ウィンターキャンペーン「とうしんウィンター定期預金」の募集を行いました。
	しんきん相続信託「こころのボタン」・しんきん暦年信託「こころのリボン」の取扱いを開始しました。

沿革

1991年4月	柳井信用金庫(1950年5月設立)、徳山信用金庫(1918年6月設立)、下松信用金庫(1948年12月設立)の3信用金庫が合併により新生「東山口信用金庫」として発足。
1992年4月	徳山支店、下松支店が日本銀行歳入代理店の承認を受ける。
1992年8月	平生支店新築(同一場所)オープン。
1992年12月	預積金残高1,000億円達成。
1993年11月	室積支店新築(同一場所)オープン。
1995年1月	富田支店、福川支店、光支店が日本銀行歳入代理店の承認を受ける。
1995年4月	ATM祝日稼働開始。
1996年1月	月丘町支店、栄町支店が日本銀行歳入代理店の承認を受ける。
1996年9月	預積金残高1,100億円達成。
1996年12月	遠石支店、徳山北支店が日本銀行歳入代理店の承認を受け、全店指定となる。
1997年2月	徳山支店ほか8店舗が西日本建設業保証(株)の受託業務取扱店の承認をうけ、全店指定となる。
1997年5月	パルティ・フジ出張所(ATM)開店。
1997年11月	ロックショッピングタウン平生出張所(ATM)開店。
1998年1月	下松支店新築(同一場所)オープン。
1998年4月	堀本忠男理事長就任、三島元理事長相談役就任。
1998年8月	本部にLANシステム導入。
1998年10月	サンリブ下松出張所(ATM)開店。
1999年3月	郵貯ATMとの相互接続取扱開始。
1999年4月	ハイパーモールメルクス柳井出張所(ATM)開店。
2000年12月	全国のしんきんATM平日、土曜日(～14:00)のご利用手数料無料の「しんきんZERO(ゼロ)ネットサービス」を開始する。
2001年4月	設立10周年を迎える。
2001年7月	朝日監査法人(現、有限責任あずさ監査法人)と監査契約を締結する。
2001年10月	山口県下10金庫と山口銀行がATM平日、土曜日(～14:00)ご利用手数料無料「YS.ネットサービス」を開始する。
2003年4月	個人向けインターネットバンキングの取扱いを開始。
2003年6月	個人向け国債の募集の取扱いを開始。
2003年7月	IYバンク銀行とATMの提携を開始する。
2003年9月	マックスバリュ田布施出張所(ATM)開店。
2004年1月	法人向けインターネットバンキングの取扱いを開始。
2006年3月	<とうしん経営塾>(柳井地区)を発足。
2007年3月	由宇支店新築(同一場所)オープン。
2009年4月	柳井南支店開設。
2010年6月	児玉正史理事長就任、堀本前理事長非常勤相談役就任。
2011年4月	設立20周年を迎える。
2012年11月	防府信用金庫との対等合併により、新生「東山口信用金庫」として新たにスタート。
2012年11月	嶋本博理事長就任。
2014年11月	宮市支店新築(同一場所)オープン。
2015年1月	周南支店(旧橋本町支店)移転オープン。
2015年3月	光支店新築移転オープン。
2015年5月	嶋本理事長 旭日双光章受章。
2016年2月	山口県と「地方創生に係る包括連携協定」を締結。
2016年3月	薩摩、長州、土佐、肥後にゆかりのある金融機関と共同で「薩長土肥包括連携協定」を締結。
2016年7月	下松支店移転オープン。
2016年7月	柳井市と「地方創生に係る包括連携協定」締結。
2017年8月	当金庫営業地区を山口県山口市(旧阿武郡阿東町を含まない)、防府市、周南市、下松市、光市、柳井市、岩国市及び熊毛郡、大島郡、玖珂郡から、山口県全域に変更。
2018年6月	山口県信用保証協会と包括連携協定に関する覚書を締結。
2018年10月	本支店、他金融機関あて即時振込の取扱時間の拡大(モアタイム)開始。
2019年6月	松原正雄理事長就任、嶋本前理事長 非常勤相談役就任。
2019年11月	出資証券のペーパーレス化(不発行)を開始。
2020年4月	とうしんアプリ通帳の取扱いを開始。
2020年6月	株式会社りそな銀行と「信託業務(併営業)に係る代理店委託契約」を締結。
2020年9月	山口県下3信用金庫と「山口県しんきん事業承継パートナーシップ」を発足。
2020年10月	信金中央金庫と「個人型年金業務に係る業務再委託基本契約」を締結。
2020年10月	信金中央金庫と「信託契約代理店委託契約」を締結
2020年11月	(一社)山口県中小企業診断協会との連携事業を開始。
2020年12月	防府駅前支店新築移転オープン。
2021年2月	山口県下3信用金庫と「SDGs(持続可能な開発目標)の推進に関する連携協定」を締結し、「SDGs宣言」を公表。
2021年2月	上関支店、大道支店の営業時間を変更し昼休みを導入。
2021年3月	問屋口支店を中関支店に統合。
2021年4月	設立30周年を迎える。

事業概況

当金庫はコンプライアンスとリスク管理を重視した業務運営を基本として、地域の皆様方との絆を深め、信頼・信用・期待に応えられる金融機関として、預金・貸出金の増強を図り、収益力の強化に取り組んで参ります。

● 預 金

新型コロナウイルス感染拡大で、個人においては消費活動抑制や特別定額給付金の支給により、また法人においては手元資金確保の動きが活発となり流動性預金が期首比140億円増加し、全体では期首比169億円増加の2,218億円となりました。

● 貸出金

新型コロナウイルス禍の影響を受けた事業先に対する資金繰り改善支援、及び個人の生活支援等に全力で取り組んだ結果、期首比52億円増加し960億円となりました。

● 有価証券

新規投資においては安全性と収益性のバランスに配慮し、国債等債券や投資信託等その他の証券を主体として購入を行いました。また、金利低下局面では債券の売却等によるポートフォリオの機動的な入れ替えを実施しました。その結果、期末残高は前期比33億円増加し740億円となりました。

● 損 益

金融機関の本来業務での収益力を示す業務純益は314百万円となり、長期金利の低下による貸出金利息収入の減少等があったものの、経常利益373百万円を計上することができました。この結果、税引前当期純利益は289百万円となり、法人税等を考慮した結果264百万円の当期純利益となりました。

● 出資金及び会員数

出資金の期末残高は799百万円となりました。また、会員数は20,632名となりました。

最近5年間の主要な経営指標の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
経常収益	3,324,261	3,322,631	3,174,381	3,049,864	3,018,984
経常利益 (又は経常損失(△))	283,481	300,361	341,905	312,864	373,129
当期純利益 (又は当期純損失(△))	282,254	280,428	317,652	313,694	264,596
出資総額	793	784	777	801	799
出資総口数	1,587	1,568	1,554	1,603	1,598
純資産額	9,246	9,221	9,846	9,460	9,920
総資産額	217,994	219,639	218,997	216,609	242,077
預金積金残高	205,954	207,875	206,540	204,876	221,812
貸出金残高	91,393	92,351	92,261	90,744	96,041
有価証券残高	66,245	70,924	71,909	70,658	74,019
単体自己資本比率	10.50	10.62	10.75	10.56	10.53
出資に対する配当金 (出資1口当たり)	10	10	10	10	10
役員数	13	13	13	12	13
うち常勤役員数	7	7	8	7	7
職員数	249	249	246	236	235
会員数	21,037	20,851	20,671	20,740	20,632